

平成 1 8 年 度

高梁市 一般会計
特別会計 決算説明資料

高 梁 市

目 次

1	平成18年度決算総括表	1
2	一般会計歳入款別決算額対前年度比較表	2
3	一般会計歳出款別決算額対前年度比較表	3
4	普通会計性質別歳出決算状況	4
5	普通会計款別普通建設事業の状況	5
6	普通会計一般財源の充当状況	6
7	普通会計市債の状況	7
8	市税収納実績及び負担状況	8
9	歳入歳出予算に対する過不足状況	9

1 平成18年度決算総括表

一般会計歳入決算額22,582,041千円から歳出決算額22,336,266千円を差引いた形式収支は245,775千円、実質収支は236,754千円となる。

(単位：円 %)

会 計 別	予 算 現 額	歳 入 決 算 額		歳 出 決 算 額		繰越事業費 繰越財源	差 引 残 額	備 考
		金 額	収入率	金 額	執行率			
一 般 会 計	23,317,758,000	22,582,041,203	96.8	22,336,266,105	95.8	9,021,400	236,753,698	
特 別 会 計	19,195,838,469	17,953,649,065	93.5	18,376,419,221	95.7	9,614,000	△ 432,384,156	
国民健康保険（事業）	3,979,322,000	4,015,347,755	100.9	3,835,067,436	96.4		180,280,319	
国民健康保険（直診）	144,003,000	141,281,658	98.1	141,281,658	98.1		0	
へき地診療所	9,841,000	10,148,528	103.1	8,076,768	82.1		2,071,760	
老人保健	6,032,095,000	5,826,433,680	96.6	5,853,761,090	97.0		△ 27,327,410	繰上充用
介護保険（事業）	3,232,099,000	3,264,792,846	101.0	3,097,425,294	95.8	3,153,000	164,214,552	
介護保険（サービス）	201,941,000	200,939,401	99.5	200,939,401	99.5		0	
養護老人ホーム	250,391,000	250,282,526	100.0	238,518,648	95.3		11,763,878	
特別養護老人ホーム	252,494,000	257,260,569	101.9	239,613,615	94.9		17,646,954	
軽費老人ホーム	41,699,000	40,127,878	96.2	40,127,878	96.2		0	
住宅新築資金等貸付事業	78,670,000	13,422,536	17.1	78,667,731	100.0		△ 65,245,195	繰上充用
農業振興施設事業	58,618,000	60,731,425	103.6	57,570,332	98.2		3,161,093	
畑地かんがい事業	19,987,000	20,594,918	103.0	19,079,692	95.5		1,515,226	
西山営農団地就農者住宅事業	3,060,000	3,209,801	104.9	3,027,641	98.9		182,160	
簡易水道事業	1,662,329,000	1,540,140,281	92.6	1,533,729,281	92.3	6,411,000	0	
下水道事業	1,763,334,000	1,568,175,971	88.9	1,568,125,971	88.9	50,000	0	
浄化槽事業	35,821,000	47,353,926	132.2	35,409,926	98.9		11,944,000	
地域開発事業	1,422,451,469	685,768,574	48.2	1,422,286,348	100.0		△ 736,517,774	繰上充用
巨瀬財産区	4,831,000	4,831,772	100.0	2,234,262	46.2		2,597,510	
宇治財産区	2,090,000	2,082,398	99.6	940,249	45.0		1,142,149	
有漢財産区	762,000	722,622	94.8	536,000	70.3		186,622	
合 計	42,513,596,469	40,535,690,268	95.3	40,712,685,326	95.8	18,635,400	△ 195,630,458	

2 一般会計歳入款別決算額対前年度比較表

一般会計歳入決算額は22,582,041千円で、前年度より2,414,955千円（9.7%）の減となっている。

（単位：千円 %）

区 分	決 算 額			決 算 構 成 比		対前年度増減率
	平成17年度	平成18年度	増 減 額	17年度	18年度	18年度
市 税	3,619,667	3,654,618	34,951	14.5	16.2	1.0
地 方 譲 与 税	526,811	656,038	129,227	2.1	2.9	24.5
利 子 割 交 付 金	22,546	15,500	△ 7,046	0.1	0.1	△ 31.3
配 当 割 交 付 金	10,002	15,146	5,144	0.0	0.1	51.4
株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	16,235	15,056	△ 1,179	0.1	0.1	△ 7.3
地 方 消 費 税 交 付 金	365,365	370,936	5,571	1.5	1.6	1.5
ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金	11,517	11,505	△ 12	0.1	0.1	△ 0.1
自 動 車 取 得 税 交 付 金	168,471	171,413	2,942	0.7	0.8	1.7
地 方 特 例 交 付 金	108,095	88,728	△ 19,367	0.4	0.4	△ 17.9
地 方 交 付 税	11,117,021	10,568,437	△ 548,584	44.5	46.8	△ 4.9
交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	7,755	8,058	303	0.0	0.0	3.9
分 担 金 及 び 負 担 金	249,418	211,624	△ 37,794	1.0	0.9	△ 15.2
使 用 料 及 び 手 数 料	378,784	390,300	11,516	1.5	1.7	3.0
国 庫 支 出 金	1,647,027	1,315,362	△ 331,665	6.6	5.8	△ 20.1
県 支 出 金	1,436,241	1,140,441	△ 295,800	5.8	5.1	△ 20.6
財 産 収 入	79,005	63,315	△ 15,690	0.3	0.3	△ 19.9
寄 附 金	690	433	△ 257	0.0	0.0	△ 37.2
繰 入 金	410,773	869,084	458,311	1.6	3.8	111.6
繰 越 金	1,082,957	361,366	△ 721,591	4.3	1.6	△ 66.6
諸 収 入	302,616	279,181	△ 23,435	1.2	1.2	△ 7.7
市 債	3,436,000	2,375,500	△ 1,060,500	13.7	10.5	△ 30.9
歳 入 合 計	24,996,996	22,582,041	△ 2,414,955	100.0	100.0	△ 9.7
自 主 財 源	6,123,910	5,829,921	△ 293,989	24.5	25.8	△ 4.8
依 存 財 源	18,873,086	16,752,120	△ 2,120,966	75.5	74.2	△ 11.2

3 一般会計歳出款別決算額対前年度比較表

一般会計歳出決算額は22,336,266千円で、前年度より2,299,308千円（9.3%）の減となっている。

（単位：千円 %）

区 分	決 算 額			決 算 構 成 比		対前年度増減率
	平成17年度	平成18年度	増 減 額	17年度	18年度	18年度
議 会 費	227,548	209,585	△ 17,963	0.9	0.9	△ 7.9
総 務 費	4,487,994	3,065,266	△ 1,422,728	18.2	13.7	△ 31.7
民 生 費	4,143,322	4,061,700	△ 81,622	16.8	18.2	△ 2.0
衛 生 費	2,170,102	2,149,159	△ 20,943	8.8	9.6	△ 1.0
労 働 費	69,271	61,075	△ 8,196	0.3	0.3	△ 11.8
農 林 水 産 業 費	1,821,001	1,675,239	△ 145,762	7.4	7.5	△ 8.0
商 工 費	398,616	273,218	△ 125,398	1.6	1.2	△ 31.5
土 木 費	3,159,099	2,743,705	△ 415,394	12.8	12.3	△ 13.1
消 防 費	751,237	817,397	66,160	3.1	3.7	8.8
教 育 費	2,325,932	2,276,845	△ 49,087	9.4	10.2	△ 2.1
災 害 復 旧 費	430,474	367,248	△ 63,226	1.8	1.6	△ 14.7
公 債 費	4,636,530	4,623,782	△ 12,748	18.8	20.7	△ 0.3
諸 支 出 金	14,448	12,047	△ 2,401	0.1	0.1	△ 16.6
合 計	24,635,574	22,336,266	△ 2,299,308	100.0	100.0	△ 9.3

4 普通会計性質別歳出決算状況

平成18年度の性質別歳出の状況は、義務的経費11,016,201千円(48.8%)、消費的経費4,727,081千円(21.0%)、投資的経費3,743,860千円(16.6%)、その他3,070,678千円(13.6%)であり、前年度との比較では義務的経費2.6%、消費的経費5.6%、投資的経費16.9%、その他25.0%の減となっている。

(単位：千円 %)

区 分	決 算 額			決 算 構 成 比		対前年度 増 減 率
	平成17年度	平成18年度	増 減 額	平成17年度	平成18年度	
人 件 費	5,080,004	4,814,936	△ 265,068	20.4	21.3	△ 5.2
扶 助 費	1,557,269	1,549,148	△ 8,121	6.3	6.9	△ 0.5
公 債 費	4,667,594	4,652,117	△ 15,477	18.7	20.6	△ 0.3
義務的経費計	11,304,867	11,016,201	△ 288,666	45.4	48.8	△ 2.6
物 件 費	2,584,597	2,455,437	△ 129,160	10.4	10.9	△ 5.0
維持補修費	85,879	92,450	6,571	0.3	0.4	7.7
補助費等	2,338,085	2,179,194	△ 158,891	9.4	9.7	△ 6.8
消費的経費計	5,008,561	4,727,081	△ 281,480	20.1	21.0	△ 5.6
普通建設事業費	4,057,914	3,335,877	△ 722,037	16.3	14.8	△ 17.8
補 助	872,917	876,952	4,035	3.5	3.9	0.5
単 独	3,184,997	2,458,925	△ 726,072	12.8	10.9	△ 22.8
災害復旧費	445,696	407,983	△ 37,713	1.8	1.8	△ 8.5
投資的経費計	4,503,610	3,743,860	△ 759,750	18.1	16.6	△ 16.9
積 立 金	1,347,664	569,374	△ 778,290	5.4	2.5	△ 57.8
投資出資貸付金	219,951	95,725	△ 124,226	0.9	0.4	△ 56.5
繰 出 金	2,523,934	2,405,579	△ 118,355	10.1	10.7	△ 4.7
そ の 他 計	4,091,549	3,070,678	△ 1,020,871	16.4	13.6	△ 25.0
歳 出 合 計	24,908,587	22,557,820	△ 2,350,767	100.0	100.0	△ 9.4

5 普通会計款別普通建設事業の状況

普通建設事業における補助事業費は、876,952千円、単独事業費は、2,458,925千円、全体で3,335,877千円となり、前年度との比較では722,037千円（17.8%）の減額となった。

(単位：千円)

区 分	平成 17 年 度			平成 18 年 度		
	補助事業	単独事業	計	補助事業	単独事業	計
総 務 費	99,359	237,879	337,238		206,362	206,362
民 生 費	1,761	38,657	40,418	30,000	32,056	62,056
衛 生 費	51,852	26,364	78,216	44,775	33,287	78,062
農 林 水 産 業 費	113,146	648,053	761,199	124,538	495,356	619,894
商 工 費		107,811	107,811	52,080	12,250	64,330
土 木 費	378,902	1,819,791	2,198,693	324,181	1,402,310	1,726,491
消 防 費		47,614	47,614		147,400	147,400
教 育 費	227,897	248,523	476,420	301,378	129,904	431,282
そ の 他		10,305	10,305			0
合 計	872,917	3,184,997	4,057,914	876,952	2,458,925	3,335,877

6 普通会計一般財源の充当状況

一般財源充当状況の構成比は、義務的経費55.6%、投資的経費6.1%、消費的経費21.7%、その他16.6%となっており、前年度との比較では総額で586,384千円（3.3%）の減額となっている。

（単位：千円 %）

区 分	平成17年度		平成18年度		対前年度
	充 当 額	構 成 比	充 当 額	構 成 比	増減率
義務的経費	9,675,932	54.6	9,528,307	55.6	△ 1.5
人件費	4,676,881	26.4	4,536,123	26.5	△ 3.0
扶助費	514,813	2.9	501,153	2.9	△ 2.7
公債費	4,484,238	25.3	4,491,031	26.2	0.2
投資的経費	1,306,765	7.4	1,043,581	6.1	△ 20.1
普通建設事業費	1,269,626	7.2	911,186	5.3	△ 28.2
災害復旧事業費	37,139	0.2	132,395	0.8	256.5
消費的経費	3,775,099	21.3	3,717,817	21.7	△ 1.5
その他	2,969,636	16.7	2,851,343	16.6	△ 4.0
合 計	17,727,432	100.0	17,141,048	100.0	△ 3.3

7 普通会計市債の状況

前年度末の現在額は、39,759,639千円となっており、平成18年度の借入額が2,399,000千円、元金償還額が3,901,110千円で、差引現在額38,257,529千円となっている。また、このうち借入先の内訳は、政府資金23,576,536千円、公庫等の資金14,680,993千円となっている。

(単位：千円)

区 分	17年度末 現在額	18年度 発行額	平成18年度元利償還額			18年度末 差引現在額	借 入 先	
			元 金	利 子	計		政 府	そ の 他
一 般 公 共 事 業	1,731,570	16,700	203,460	26,927	230,387	1,544,810	1,544,510	300
一 般 単 独 事 業	14,580,185	613,600	1,314,625	246,569	1,561,194	13,879,160	2,460,411	11,418,749
公営住宅建設事業	1,862,078	5,600	115,584	55,573	171,157	1,752,094	1,326,529	425,565
義務教育施設事業	1,672,238		170,564	53,807	224,371	1,501,674	1,332,916	168,758
辺地対策事業	1,245,812	200,100	236,841	14,075	250,916	1,209,071	1,209,071	0
災害復旧事業	459,801	88,000	70,499	6,003	76,502	477,302	477,302	0
単 独 災 害	150,796	46,200	26,917	1,795	28,712	170,079	170,079	0
補 助 災 害	309,005	41,800	43,582	4,208	47,790	307,223	307,223	0
過疎対策事業	8,247,540	751,000	1,127,610	127,832	1,255,442	7,870,930	7,856,941	13,989
財源対策債	1,499,508	17,300	369,254	76,889	446,143	1,147,554	558,963	588,591
臨時財政対策債	4,226,377	672,300	89,461	53,170	142,631	4,809,216	4,410,767	398,449
そ の 他	4,234,530	34,400	203,212	81,665	284,877	4,065,718	2,399,126	1,666,592
合 計	39,759,639	2,399,000	3,901,110	742,510	4,643,620	38,257,529	23,576,536	14,680,993

8 市税収納実績及び負担状況

平成18年度市税収入額は、前年度と比較し34,951千円（1.0%）の増となっている。また、市税の税目別負担状況は、前年度との比較で1人当たり2,678円（2.7%）、1世帯当たり3,279円（1.3%）の増となっている。

（単位：千円 %）

区 分	調定額			収入額			収納率			前年度比（収入額）		
	16年度	17年度	18年度	16年度	17年度	18年度	16年度	17年度	18年度	16年度	17年度	18年度
市 民 税	1,395,993	1,400,479	1,465,053	1,319,675	1,322,369	1,404,687	94.5	94.4	95.9	△0.9	0.2	6.2
固 定 資 産 税	1,968,178	2,030,928	1,989,848	1,819,434	1,883,003	1,840,564	92.4	92.7	92.5	0.3	3.5	△2.3
軽自動車税	96,393	98,736	100,394	89,345	90,928	92,618	92.7	92.1	92.3	0.5	1.8	1.9
たばこ税	195,273	189,976	191,740	195,258	189,961	191,725	100.0	100.0	100.0	0.2	△2.7	0.9
鉦 産 税	170	192	245	170	192	245	100.0	100.0	100.0	6.9	12.9	27.6
特別土地保有税	10	10	12	0	0	2	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0
都 市 計 画 税	145,705	144,698	136,146	133,932	133,214	124,777	91.9	92.1	91.6	1.3	△0.5	△6.3
合 計	3,801,722	3,865,019	3,883,438	3,557,814	3,619,667	3,654,618	93.6	93.7	94.1	△0.1	1.7	1.0

（単位：円 %）

区 分	16年度		17年度		18年度		対前年度増減率					
	1人当たり	1世帯当たり	1人当たり	1世帯当たり	1人当たり	1世帯当たり	1人当たり			1世帯当たり		
	(37,488人)	(13,924世帯)	(37,005人)	(13,946世帯)	(36,367人)	(13,905世帯)	16年度	17年度	18年度	16年度	17年度	18年度
市 民 税	35,203	94,777	35,735	94,821	38,625	101,020	0.3	1.5	8.1	△1.0	0.0	6.5
固 定 資 産 税	48,534	130,669	50,885	135,021	50,611	132,367	1.6	4.8	△0.5	0.3	3.3	△2.0
軽自動車税	2,383	6,417	2,457	6,520	2,547	6,661	1.8	3.1	3.7	0.4	1.6	2.2
たばこ税	5,208	14,023	5,133	13,621	5,272	13,788	1.4	△1.4	2.7	0.1	△2.9	1.2
鉦 産 税	5	12	5	14	7	18	25.0	0.0	40.0	9.1	16.7	28.6
特別土地保有税	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
都 市 計 画 税	3,572	9,619	3,600	9,552	3,431	8,974	2.6	0.8	△4.7	1.3	△0.7	△6.1
合 計	94,905	255,517	97,815	259,549	100,493	262,828	1.2	3.1	2.7	△0.2	1.6	1.3

（ ）内は年度末人口、世帯数を示す

9 歳入歳出予算に対する過不足状況

高梁市一般会計

(歳 入)

(目・100万円以上 単位:千円)

款	項	目	過不足額	理 由
市 税	市 民 税	個 人	2,919	退職などの理由により4～5月分(19年度会計分)を一括して3月分までに納付された市県民税額及び退職所得にかかる市県民税額が、予想以上に多かったため
		法 人	△ 6,509	3月申告分が予想より少なかったため
	固 定 資 産 税	固 定 資 産 税	6,251	見込みより本年度収納率が向上し、収入額が増加したため
地 方 譲 与 税	自 動 車 重 量 譲 与 税	自 動 車 重 量 譲 与 税	△ 6,315	譲与税の確定による
	地 方 道 路 譲 与 税	地 方 道 路 譲 与 税	△ 5,063	譲与税の確定による
配 当 割 交 付 金	配 当 割 交 付 金	配 当 割 交 付 金	2,146	交付金の確定による
株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	△ 7,744	交付金の確定による
地 方 消 費 税 交 付 金	地 方 消 費 税 交 付 金	地 方 消 費 税 交 付 金	8,436	交付金の確定による
地 方 交 付 税	地 方 交 付 税	地 方 交 付 税	△ 5,111	特別交付税の確定による
分 担 金 及 び 負 担 金	負 担 金	民 生 費 負 担 金	△ 3,562	入園児童数が見込みより少なかったことと、現年及び過年度の保育料について未納があったため
		農 林 水 産 業 費 負 担 金	△ 1,691	繰越措置による
使 用 料 及 び 手 数 料	使 用 料	総 務 使 用 料	1,540	有線テレビ使用料等が見込みを上回ったため
		土 木 使 用 料	4,346	見込みより収納率が向上し、収入額が増加したため
		教 育 使 用 料	3,036	学校施設及び体育施設等の使用が見込みより多かったため
	手 数 料	衛 生 手 数 料	△ 1,354	下水道等の普及により、し尿処理量が減少したため
国 庫 支 出 金	国 庫 負 担 金	民 生 費 国 庫 負 担 金	1,344	知的障害者、身体障害者の施設支援費の実績が増えたことによる
		災 害 復 旧 費 国 庫 負 担 金	△ 12,060	繰越措置による
	国 庫 補 助 金	民 生 費 国 庫 補 助 金	1,650	精神障害者介護給付事業費を負担金で予算化していたが補助金で収入したため
		土 木 費 国 庫 補 助 金	△ 160,340	繰越措置による
県 支 出 金	県 負 担 金	民 生 費 県 負 担 金	△ 42,792	自立支援法の改正により知的障害者及び身体障害者の施設支援費と補装具給付費への補助が減ったため
		県 補 助 金	民 生 費 県 補 助 金	△ 15,481
	県 補 助 金	衛 生 費 県 補 助 金	△ 4,897	乳幼児医療扶助費が見込みより少なかったため
		災 害 復 旧 費 県 補 助 金	1,490	激甚指定され、補助率が見込みより高くなったため
財 産 収 入	財 産 売 払 収 入	不 動 産 売 払 収 入	5,625	普通財産(元武道館)を追加処分したため
繰 入 金	基 金 繰 入 金	基 金 繰 入 金	△ 6,852	地域振興交付金交付事業について、事業費に減額があったため

款	項	目	過不足額	理 由
諸 収 入	延滞金、加算金及び過料	延 滞 金	1,416	延滞金の件数・金額が、ともに見込みを上回ったため
	貸付金元利収入	貸 付 金 元 金 収 入	△ 39,796	土地開発公社貸付金の減により元金収入の不足を生じたため
	雑 入	雑 入	△ 12,776	高梁地域事務組合職員給与等負担金等の減による
市 債	市 債	総 務 債	△ 1,800	地域再生事業債の減による
		農 林 水 産 業 債	△ 3,700	地震ため池整備事業費充当額の減による
		土 木 債	△ 51,000	繰越措置による
		災 害 復 旧 債	△ 7,800	繰越措置による
		過 疎 対 策 債	△ 345,400	繰越措置による
		合 併 特 例 債	△ 35,600	繰越措置による

(歳 出)

款	項	目	不用額	理 由	
議 会 費	議 会 費	議 会 費	3,887	政務調査費の返納があったため	
総 務 費	総 務 管 理 費	一 般 管 理 費	5,630	交通事故示談の不成立による賠償金が執行できなかったこと及び給与費が見込みを下回ったため	
		文 書 広 報 費	1,233	広報紙の増ページ抑制により印刷製本費が減となったため	
		財 産 管 理 費	44,813	土地開発公社の事業減により貸付金の減を生じたため	
		企 画 費	3,383	なりわビジョンの機械器具等の故障が例年に比べ少なかったことと、吹屋地区でのケーブル支障移転工事のルートを変更したことにより、予算編成した時より費用が安価になったこと、また、補正予算以後引込工事や支障移転工事等の件数が少なかったことによる	
		地 域 局 費	5,398	コピー、郵送料の節約に努めたことに加え、庁舎修繕等件数がなかったことによる	
		地 域 振 興 費	8,728	地域振興交付金交付事業について、事業費に減額があったため	
		諸 費	1,531	陥没事象が少なかったことにより、陥没被害修復補助金申請と陥没調査委託料が見込みを下回ったため	
	徴 税 費	税 務 総 務 費	税 務 総 務 費	3,418	事務の見直し等を図り、超過勤務手当の節減に努めたため
			賦 課 徴 収 費	1,020	通信運搬費等の経費節減に努めたため
	選 挙 費	県 議 会 議 員 選 挙 費	1,802	投票区の見直しを行った結果として、公営ポスター掲示場の設置数の減少等、節減に繋がったため	
民 生 費	社 会 福 祉 費	社 会 福 祉 総 務 費	26,689	身体障害者療護施設及び授産施設、知的障害更生施設及び授産施設等のサービス利用及び心身障害者医療扶助費が見込みより少なかったことに加え、事務費等が下回ったことにより国保特別会計への繰出金が減ったため	
		老 人 福 祉 費	27,865	県老人医療扶助費、老人保健特別会計繰出金及び、老人ホーム等の繰出金が減となったため	
		介 護 保 険 総 務 費	27,015	介護保険特別会計繰出金が減となったため	

款	項	目	不用額	理 由
民 生 費	児 童 福 祉 費	児 童 福 祉 総 務 費	4,827	放課後児童健全育成事業の運営委託料と人件費の減に加え、児童扶養手当支給事業で支給差止者の随時払いを見込んでいたが現況届出がなかったため。また、子育て支援センターの人件費が見込より少なかったことによる
		児 童 措 置 費	1,186	児童手当支給事業等の手当の随時払いを見込んでいたが見込より少なかったため
		児 童 福 祉 施 設 費	6,875	私立保育園委託事業が見込より少なかったこと、保育園管理運営事業の各保育園毎に少額の不用額が生じたため
	生 活 保 護 費	扶 助 費	32,101	生活保護扶助費の内、医療扶助が見込み額よりすくなかったため
衛 生 費	保 健 衛 生 費	保 健 衛 生 総 務 費	50,219	簡易水道事業特別会計繰出金の減及び乳幼児医療扶助費の減による
		予 防 費	14,038	伝染病予防接種委託料及び老人保健健診委託料が見込みよりすくなかったため
		環 境 衛 生 費	1,192	火葬炉及び霊柩車の使用件数が、見込みを下回ったことによる燃料費の減によるため
	清 掃 費	し 尿 処 理 費	3,689	し尿処理量が、見込みを下回ったことによる委託料及び臨時職員の病欠退職による賃金の減によるため
農 林 水 産 業 費	農 業 費	農 業 総 務 費	1,607	超過勤務手当が見込みを下回ったため
		農 業 振 興 費	1,257	施設管理費の節約によるものと、農業生産団体補助金の申請が少なかったこと、観光農園での降雪・冷害対策としての賃金が不要だったことによる
		農 地 費	1,870	降雪量が少なく、農道管理における凍結防止剤、除雪作業が少なかったため
	林 業 費	林 業 振 興 費	2,494	林道、自然公園、キャンプ場等の修繕が少なかったことに加え、松くい虫駆除の県補助対象箇所被害木が少なかったこと、また、林道の測量設計委託料が、見込みより少なかったため
商 工 費	商 工 費	観 光 費	1,986	各観光施設で光熱水費等の需用費節約に努めたため
土 木 費	道 路 橋 梁 費	道 路 橋 梁 総 務 費	4,223	3月補正時に岡山県見込みにより増額補正していたが、県工事が年度末完成しなかったことにより、国県道市町村負担金が減額請求されたため
		道 路 維 持 費	1,762	降雪量が少なかったことにより、凍結防止剤の購入が見込みより下回ったため
		道 路 新 設 改 良 費	2,514	用地買収にあたり財務省協議が必要な土地があり、その調整に不足の日数を要し、当該箇所工事が未施工となったため
	住 宅 費	住 宅 管 理 費	2,870	工事内容の見直しにより、削減に努めたため
消 防 費	消 防 費	常 備 消 防 費	2,488	火災発生件数の減少により、超過勤務手当、燃料費が見込みを下回ったため
		非 常 備 消 防 費	4,994	火災発生件数の減少により、消防団員の出勤人員が見込みより少数となったため
		消 防 施 設 費	4,452	工事請負費の入札残及び備品を低価で購入できたため
教 育 費	教 育 総 務 費	事 務 局 費	2,288	スクールバス運行委託料(単契)が見込みより少なかったことに加え、暖冬により灯油代を抑えることができたため
	小 学 校 費	学 校 管 理 費	3,833	暖冬により、灯油代を抑えることができたことに加え、各小学校が光熱水費の節約に努めたため
	中 学 校 費	学 校 管 理 費	2,749	暖冬により、灯油代を抑えることができたことに加え、各中学校が光熱水費の節約に努めたため

款	項	目	不用額	理 由
教 育 費	幼 稚 園 費	幼 稚 園 費	1,503	暖冬により、灯油代を抑えることができたことに加え、各幼稚園が光熱水費の節約に努めたため
		社 会 教 育 費	6,571	吹屋伝建家屋保存事業工事費及び施設清掃業務委託料などが見込みより少なかったため
	保 健 体 育 費	公 民 館 費	2,673	公民館分館施設整備工事費の減、並びに公民館運営審議会開催回数の減少により委員報酬などが見込みを下回ったため
		美 術 館 費	3,102	成羽町美術館の収入増により、施設管理委託料及び美術館特別展開催事業補助金などが見込みを下回ったため
	学 校 給 食 費	体 育 施 設 費	1,199	体育施設(17箇所)における光熱水費、修繕料等管理運営費の実績が見込みを下回ったため
		学 校 給 食 費	1,697	光熱水費の節約 備品購入を控えて、出来るだけ修繕を行なったため
災 害 復 旧 費	土 木 施 設 災 害 復 旧 費	現 年 公 共 災 害 復 旧 費	2,085	国庫負担額(負担金ベース事業費)が確定済みであった後に激甚災害に指定され、負担率のみの嵩上げ(66.7→67.8%)が 2 月末に決定したことにより、全体事業費の減額調整が必要となったため
公 債 費	公 債 費	元 金	1,121	見込みより少なかったため
		利 子	3,181	効率的な資金運用に努めたため

高梁市国民健康保険特別会計(事業勘定)
(歳入)

款	項	目	過不足額	理 由
国 民 健 康 保 険 税	国 民 健 康 保 険 税	一般被保険者国民健康保険税	△ 10,591	見込より収納額が少なかったため
		退職被保険者等国民健康保険税	10,396	退職被保険者の増により、見込より収納額が多かったため
国 庫 支 出 金	国 庫 負 担 金	療 養 給 付 費 等 負 担 金	△ 33,087	一般被保険者の医療費が見込みより少なかったため
	国 庫 補 助 金	財 政 調 整 交 付 金	118,782	普通調整交付金の調整対象収入額の不足による増のため。特別調整交付金の特別事情分等の増のため
療 養 給 付 費 等 交 付 金	療 養 給 付 費 等 交 付 金	療 養 給 付 費 等 交 付 金	19,683	退職被保険者の医療費が見込みより多かったため
県 支 出 金	県 補 助 金	財 政 調 整 交 付 金	△ 2,115	一般被保険者の医療費が見込みより少なかったため
共 同 事 業 交 付 金	共 同 事 業 交 付 金	高 額 医 療 費 共 同 事 業 交 付 金	△ 1,295	80万円を超える高額医療費の発生が見込みより少なかったため
		保 険 財 政 共 同 安 定 化 事 業 交 付 金	1,186	30万円から80万円の医療費が見込みより多かったため
繰 入 金	基 金 繰 入 金	財 政 調 整 基 金 繰 入 金	△ 66,120	基金を繰入れる必要がなくなったため
諸 収 入	貸 付 金 元 利 収 入	高 額 療 養 費 貸 付 金 元 利 収 入	△ 1,030	高額療養費の貸付が見込みより少なかったため

(歳出)

款	項	目	不用額	理 由
総務費	総務管理費	一般管理費	1,048	人件費・事務費が見込を下回ったため
保険給付費	療養諸費	一般被保険者療養給付費	29,463	一般被保険者の医療費が見込を下回ったため
		退職被保険者等療養給付費	22,357	退職被保険者の医療費が見込を下回ったため
	高額療養費	一般被保険者高額療養費	5,411	一般被保険者の高額医療費が見込を下回ったため
		退職被保険者等高額療養費	2,515	退職被保険者の高額医療費が見込を下回ったため
保健事業費	保健事業費	疾病予防費	1,505	人間ドックの受診者が見込を下回ったため
諸支出金	償還金及び還付加算金	一般被保険者保険税還付金	1,249	一般被保険者に係る過年度還付金が見込を下回ったため

高梁市国民健康保険特別会計(直診勘定)

(歳入)

款	項	目	過不足額	理 由
諸収入	雑入	雑入	△ 2,261	派遣職員に係る給与費負担金が見込みより少なかったため

(歳出)

款	項	目	不用額	理 由
総務費	総務管理費	一般管理費	2,084	川上診療所派遣職員人件費が見込を下回ったため

高梁市老人保健特別会計

(歳入)

款	項	目	過不足額	理 由
支払基金交付金	支払基金交付金	医療費交付金	△ 13,376	交付金が見込みより減額となったため
国庫支出金	国庫負担金	医療費国庫負担金	△ 175,232	負担金が見込みより減額となったため
県支出金	県負担金	医療費県負担金	△ 16,076	負担金が見込みより減額となったため
繰入金	一般会計繰入金	一般会計繰入金	△ 4,418	医療費が見込みより少なかったため
諸収入	雑入	第三者納付金	3,220	損害賠償求償による納付金が見込みより多かったため

(歳出)

款	項	目	不用額	理 由
医療諸費	医療諸費	医療給付費	175,592	老人医療受給対象者の医療費が見込を下回ったため
		医療費支給費	2,283	老人医療受給対象者の医療費が見込を下回ったため

高梁市介護保険特別会計(事業勘定)

(歳入)

款	項	目	過不足額	理 由
介護保険料	介護保険料	第1号被保険者保険料	△ 2,137	滞納者が増えたため
国庫支出金	国庫負担金	介護給付費負担金	30,613	国の配分において介護給付費を見込みより多く見込んだため
		調整交付金	27,042	交付金率が見込みより大幅に高かったため
		事業費補助金	△ 1,047	事業の繰越による
支払基金交付金	支払基金交付金	地域支援事業支援交付金	1,110	対象事業費の減額変更以前に交付されたため
繰入金	一般会計繰入金	一般会計繰入金	△ 23,006	介護給付費が見込みより少なかったため、事業費の節減により

(歳出)

款	項	目	不用額	理 由
総務費	総務管理費	一般管理費	1,676	主治医意見書の件数減少のため
介護認定費	介護認定審査費	介護認定審査費	1,373	審査件数減少により審査会回数が減少したため
保険給付費	介護サービス等諸費	居宅介護サービス給付費	43,529	居宅サービス給付費が見込を下回ったため
		施設介護サービス給付費	41,594	施設サービス給付費が見込を下回ったため
		居宅介護住宅改修費	2,464	居宅介護住宅改修費が見込を下回ったため
		居宅介護サービス計画給付費	3,661	居宅介護サービス計画給付費が見込を下回ったため
		地域密着型介護サービス給付費	7,527	地域密着型介護サービス給付費が見込を下回ったため
	介護予防サービス等諸費	介護予防サービス給付費	6,106	介護予防サービス給付費が見込を下回ったため
		介護予防住宅改修費	2,643	介護予防住宅改修費が見込を下回ったため
		介護予防サービス計画給付費	1,016	介護予防サービス計画給付費が見込を下回ったため
		地域密着型介護予防サービス給付費	1,242	地域密着型介護予防サービス給付費が見込を下回ったため
	高額介護サービス等費	高額介護サービス費	4,106	高額介護サービス費が見込を下回ったため
特定入所者介護サービス等費		特定入所者介護サービス費	6,579	特定入所者介護サービス給付費が見込を下回ったため
地域支援事業費	介護予防事業費	特定施策事業費	1,431	配食サービス利用者が見込みより少なかったため
	包括的支援等事業費	介護予防ケアマネジメント事業費	1,043	特定高齢者の実態把握件数が見込みより少なかったため

高梁市介護保険特別会計(サービス勘定)

(歳入)

款	項	目	過不足額	理 由
サービス収入	予防給付費収入	介護予防サービス計画費収入	△4,521	新予防給付の介護予防サービス計画件数が、見込みより少なかったため

款	項	目	過不足額	理 由
繰入金	一般会計繰入金	一般会計繰入金	△3,038	ひだまり苑人件費負担金が見込みを上回り繰入金が減少したため
諸収入	雑入	雑入	5,178	ひだまり苑人件費負担金が見込みを上回ったため

高梁市養護老人ホーム特別会計

(歳入)

款	項	目	過不足額	理 由
委託金	委託金	民生費委託金	1,252	入所者が当初見込より増となり事務費委託金が増となったため
繰入金	一般会計繰入金	一般会計繰入金	△ 1,642	措置費増により繰入が不要となったため

(歳出)

款	項	目	不用額	理 由
総務費	総務管理費	施設管理費	2,417	人件費の減のため
施設費	社会福祉施設費	社会福祉施設費	9,353	事務費委託金の増を本科目へ充当し入所者への待遇改善を図ったが、生活用品等の需要が少なく、不用となったため

高梁市特別養護老人ホーム特別会計

(歳入)

款	項	目	過不足額	理 由
サービス収入	介護給付費収入	居宅介護サービス収入	2,689	短期入所生活介護・通所介護費収入が見込みより増となったため
		施設介護サービス収入	3,463	見込みより利用者の要介護度が高くなり、入院者数も減となったため
繰入金	一般会計繰入金	一般会計繰入金	△ 2,632	介護サービス収入が見込みを上回ったため

(歳出)

款	項	目	不用額	理 由
総務費	総務管理費	一般管理費	3,346	人件費及び施設修繕工事費等の支出の減による
サービス事業費	施設介護サービス事業費	施設介護サービス事業費	2,392	燃料費、光熱水費、介護用消耗品費等の支出の減による

高梁市軽費老人ホーム特別会計

(歳入)

款	項	目	過不足額	理 由
使用料及び手数料	使用料	施設使用料	1,655	入所者増のため

款	項	目	過不足額	理 由
繰入金	一般会計繰入金	一般会計繰入金	△ 3,304	施設利用料の増による繰入の減額による

高梁市住宅新築資金等貸付事業特別会計
(歳入)

款	項	目	過不足額	理 由
繰入金	一般会計繰入金	一般会計繰入金	2,440	繰上償還による返済を見込んでいたが、返済がなかったため
諸収入	貸付金元利収入	貸付金元利収入	△ 68,077	現年及び過年度の償還金について未納があったため

高梁市農業振興施設事業特別会計
(歳入)

款	項	目	過不足額	理 由
事業収入	事業収入	事業収入	2,272	モデル農場収入は水温瀬戸ジャイアンツの市場出荷において、房姿良好、高品質であったため販売単価が上がり収入増となった、また、堆肥販売収入は販売店の取扱量が好調で収入増となったことによる

高梁市簡易水道事業特別会計
(歳入)

款	項	目	過不足額	理 由
分担金及び負担金	負担金	衛生費負担金	△ 2,158	新規加入者負担金の減による
使用料及び手数料	使用料	衛生使用料	7,202	簡易水道使用料の増による
国庫支出金	国庫補助金	衛生費補助金	△ 25,918	繰越措置による
繰入金	一般会計繰入金	一般会計繰入金	△ 37,154	簡易水道使用料の増及び歳出費目の簡易水道施設費等の減による
諸収入	受託事業収入	衛生費受託事業収入	△ 14,224	給水管取出工事受託収入の減による
市債	市債	簡易水道新設改良事業債	△ 49,400	津川簡易水道改良工事費の減及び繰越措置による

(歳出)

款	項	目	不用額	理 由
衛生費	簡易水道費	簡易水道総務費	3,581	組合解散による報償費の減及び地域局分後納郵便料の減等による
		簡易水道施設費	24,304	広域水道企業団からの受水費の減及び新規取出し工事費の減による
		簡易水道新設改良事業費	19,984	津川簡易水道、備中北部簡易水道改良工事費の減及び繰越措置による

高梁市下水道事業特別会計
(歳入)

款	項	目	過不足額	理 由
使用料及び手数料	使用料	下水道使用料	△ 2,284	使用料が見込みを下回ったため
国庫支出金	国庫補助金	公共下水道事業費国庫補助金	△ 31,550	浄化センター改築耐震工事が繰越になったため
		特定環境保全公共下水道事業費国庫補助金	△ 17,300	津川分区污水管布設工事が繰越になったため
諸収入	雑収入	雑収入	△ 2,966	繰越措置による補償金が減となったため
市債	市債	下水道事業債	△ 141,200	繰越措置による

(歳出)

款	項	目	不用額	理 由
公共下水道事業費	施設管理費	処理場管理費	1,650	塩素消毒から紫外線消毒に変更したことにより、薬剤費が減となったため

高梁市浄化槽事業特別会計
(歳入)

款	項	目	過不足額	理 由
国庫支出金	国庫補助金	浄化槽事業費国庫補助金	11,944	設置基数が計画から大幅減となったが、事業計画額で交付がされたため

高梁市地域開発事業特別会計
(歳入)

款	項	目	過不足額	理 由
財産収入	財産売却収入	不動産売却収入	△ 686,001	土地の売払いができなかったため
繰越金	繰越金	繰越金	△ 50,690	繰上充用金へ振替えたため

高梁市巨瀬財産区特別会計
(歳出)

款	項	目	不用額	理 由
財産費	財産費	財産管理費	1,485	施設修繕等の必要がなかったため